

センターニュース No. 574

1. 第16回九州大学大型計算機センター計算機科学研究集会講演募集

本センターでは、標記研究集会を下記のように開催します。この研究集会の目的は、センター利用者にとって有益な研究成果あるいは計算機科学への問題提起を含んだ研究の発表と討論の場を提供し、利用者と計算機科学の研究者との交流の接点をつくることにより、計算機利用技術の向上を図ろうとするものです。センター利用者の方々ならびに計算機に関する研究に従事される方々の積極的な研究発表をお願いいたします。

日時

平成10年11月30日（月）10:00～17:00

場所

九州大学国際ホール

応募方法

A4判用紙1枚程度の講演概要をご用意いただき、9月18日（金）までに提出してください。このとき、発表者の氏名・所属・電話番号も明記してください。この講演概要は編集委員会における審査やプログラム検討のために使用するもので、様式は自由です。電子メールでのお申し込みも歓迎いたします。

審査

応募論文は、編集委員会において、本研究集会の趣旨に基づいて審査します。審査結果は、10月上旬までにご連絡いたします。

講演方法

会場にはOHPをご用意します。その他の機器の利用をご希望の方は、事前に下記の連絡先までご相談ください。また、当日は参加者配布用資料を50部ご持参ください。

講演時間

質疑応答を含め30分を予定していますが、講演件数によって多少調整することがあります。

論文提出

発表いただいた研究は、九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告として、平成11年3月ご

ろに発行する予定です。このための原稿（カメラ・レディー・フォーム10頁程度）を平成11年1月末ごろまでに提出していただきます。要領は審査結果決定後にお知らせします。

申込み先

九州大学大型計算機センター 天野 浩文

〒812-8581

福岡市東区箱崎6-10-1

E-mail: amano@cc.kyushu-u.ac.jp

FAX: 092-642-2294

TEL: 092-642-2310

2. 「2次元圧縮性ナビエ・ストークス・コード」公開のお知らせ

本数値計算コードは、主として、圧縮性流れ中で振動する2次元翼に作用する非定常空気力を計算するために開発されたものです。基礎となる方程式は、圧縮性ナビエ・ストークス方程式で、差分スキームとしては、Yee-HartenのTV Dスキームを採用しています。差分格子は物体と共に動くC型の物体適合 (body fitted)格子を用いています。また、一定振幅で調和振動する翼の問題の他に、振動しない定常問題、上下振動とピッチング振動の2自由度を持つ2次元弾性翼の空力弾性応答解析(フラッタシミュレーション)も可能です。

本数値計算コードの利用方法に関しては、大型計算機センター4Fの図書室で以下のマニュアルをご覧ください。

「2次元圧縮性ナビエ・ストークス・コードの使用説明書」

(ライブラリ室 ダイヤルイン 092-642-2295)

e-mail: f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp